

第四商業高等学校（3学年用）

教科： 国語

科目： 文学国語

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書： （ 文国704『文学国語』（大修館書店）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 社会生活を豊かに生きるために必要な言語や言葉について、その特質を理解し適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】 社会生活を豊かに生きるために必要な言語や言葉をもとに、ものごとについて正確に考え、適切且つ多様に表現すること

【学びに向かう力、人間性等】 言語、言葉のもつ価値や感覚を尊重するとともに、自身の言語能力の向上を図ることができる。

科目 文学国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
<p>A 随筆を読み、その特質を理解するとともに、ノンフィクション分野の表現の多様性を学び、表現の幅を増やす。</p> <p>【知識及び技能】 文学的文章のうち、ノンフィクション分野の基礎を学ぶために必要な語彙を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、多面的・多角的な視点から評価する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く本文と向き合い、表現の意味を考え、学習課題に沿って自身の考えを共有する。</p>	<p>【教材】 ・梨木果歩「飛ぶことを知っている魂」</p> <p>【指導項目・内容】 ・随筆という文章ジャンルの特質を理解する。 ・ノンフィクションという分野の特質を理解する。 ・本文で使われている比喩表現、ストーリー展開、技巧などに着目し、作品の特色を読み取る。</p>	○	○		<p>【知識・技能】 文学的文章のうち、ノンフィクション分野の基礎を学ぶために必要な語彙を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、多面的・多角的な視点から評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く本文と向き合い、表現の意味を考え、学習課題に沿って自身の考えを共有する。</p>	○	○	○	7
<p>B 近代文学のうち、短編の小説作品を読み、日本古来の表現との差異を自覚し、文体による表現の奥深さを学ぶ。</p> <p>【知識及び技能】 文学的文章のうち小説分野に必要な語彙を増やし、語感を磨き語彙を豊かにするとともに、漢文脈を始めとした文体についての知見を広げる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や物語の展開、複雑な表現について、書き手の意図と読者の読みの意識との関係において多面的・多角的な視点から評価する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く本文と向き合い、表現の意味を考え、学習課題に沿って自身の考えを持ち、他者と共有する。</p> <p>定期考査</p>	<p>【教材】 ・井伏鱒二「山椒魚」</p> <p>【指導項目・内容】 ・小説というジャンルの特質を理解する。 ・本文で使われているレトリックを中心に、比喩表現、ストーリー展開、技巧などに着目し、作品の特色を読み取る。 ・社会におけるエリート層の人間の苦悩を考えることを通して、羞恥、臆病、傲慢といった負の感情の受容とその影響について考察し、自身の考えを持つ。 ・文学における美について、その概念の意味するところを、本文の表現を通して考える。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 文学的文章のうち小説分野に必要な語彙を増やし、語感を磨き語彙を豊かにするとともに、漢文脈を始めとした文体についての知見を広げる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や物語の展開、複雑な表現について、書き手の意図と読者の読みの意識との関係において多面的・多角的な視点から評価する</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く本文と向き合い、表現の意味を考え、学習課題に沿って自身の考えを持ち、他者と共有する。</p>	○	○	○	12
<p>C 近代文学のうち、短編小説作品を読み、文学作品の発表形式による作風の違いに対する認識を深め、</p> <p>【知識及び技能】 文学的文章のうち小説分野を読むためのレトリックや表現の連関に意識を向けて読み、場面の設定や文体についての知識を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品の発表形式と構成や物語の展開、場面の設定やレトリック表現の意味について、書き手の意図と読者の読みの意識との関係において多面的・多角的な視点から評価するとともに、一定の作品に対する批評を自身で表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く本文と向き合い、表現の意味と構成の工夫を考え、学習課題に沿って自他の考えを比較して批評する。</p>	<p>【教材】 ・川端康成「伊豆の踊り子」 ・阿部公房「赤い繭」</p> <p>【指導項目・内容】 ・小説というジャンルの特質を理解する。 ・本文で使われているレトリックを中心に、比喩表現、場面の設定やストーリー展開、技巧などに着目し、作品の特色を読み取る。 ・近代の日本社会における、「日本人」の「こころ」の有り様について社会的背景を踏まえて考察し、その上で登場人物の行動、言動、表現の意味を考える。 ・作品中のテンスを書簡体という文体と結び付けて読み、その設定の構成上の効果や読み手に与える読書行為の意味について自身の考えを持つ。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 文学的文章のうち小説分野に必要な語彙を増やし、語感を磨き語彙を豊かにするとともに、漢文脈を始めとした文体についての知見を広げる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や物語の展開、複雑な表現について、書き手の意図と読者の読みの意識との関係において多面的・多角的な視点から評価する</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く本文と向き合い、表現の意味を考え、学習課題に沿って自身の考えを持ち、他者と共有する。</p>	○	○	○	24

1 学期

	定期考査				○ ○		○ ○ ○	1
2 学 期	D 近代文学のうち、擬古文体の短編小説を読み、明治期の日本文学を読み味わうとともに、現代日本文学、現代小説との違いを体感することで、時代と文学作品との関連性を学ぶ。  【知識及び技能】 文学的文章のうち擬古文体の小説分野を読むことで、古文表現特有の語彙や技巧について理解を深める。  【思考力、判断力、表現力等】 作品の文体や構成、物語の展開、場面の設定やレトリック表現の意味について、作品成立の背景や読者の読みの意識との関係において多面的・多角的な視点から批評し、時代と空間と人間についての洞察を行う。  【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く本文と向き合い、擬古文の意味するところを理解しようと努め、表現の意味と構成の工夫を捉えることによって、学習課題に沿って自他の考えを交流することができる。	【教材】 ・森鷗外「舞姫」  【指導項目・内容】 ・擬古文体という文体の特質を理解する。 ・本文で使われているレトリックを中心に、比喻表現、場面の設定やストーリー展開、技巧などに着目し、作品の特色を読み取る。 ・近代の日本社会のうち特に明治時代における社会状況を正確に把握したうえで、その当時の「日本人」の精神世界の有り様について考察し、その上で登場人物の行動、言動、表現の意味を読む。 ・回想する文体による物語展開の構成上の工夫と、時代から影響を受けざるを得ない人間の心模様とを連関させて読み、人間が時代をどう生きるのか、について作品の考えを読み取る。 ・太田豊太郎とエリスについて、それぞれの視点から作品を通読し、視点人物による作品世界の見え方の違いを考察することで、読み手による多様な読みの可能性を考える。			○ ○ ○		○ ○ ○	24
	定期考査				○ ○		○ ○ ○	1
	E 近代文学のうち、短編の小説作品を読み、日本古来の表現との差異を自覚し、文体による表現の奥深さを学ぶ。  【知識及び技能】 文学的文章のうち小説分野に必要な語彙を増やし、語感を磨き語彙を豊かにするとともに、漢文脈を始めとした文体についての知見を広げる。  【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や物語の展開、複雑な表現について、書き手の意図と読者の読みの意識との関係において多面的・多角的な視点から評価する  【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く本文と向き合い、表現の意味を考え、学習課題に沿って自身の考えを持ち、他者と共有する。	【教材】 ・角田光代「鍋セット」  【指導項目・内容】 ・文字表現だけではなく、風景やモノ、非言語的存在と文学との間を往還を通して、微視的な視点だけではなく、巨視的な視点から文学を考察する。 ・広義の「文学」の範囲と、その特質を学ぶことで、社会的、世界的な文学の広がりや歴史の変遷への視野を養う。			○ ○ ○		○ ○ ○	11
F 言語、言葉によるものの見方・考え方のうち、文学に基づいたものの見方・考え方についての一視点を学習を振り返ることで確立し、生涯にわたって文学を愛好し広める力を養う。  【知識及び技能】 我が国の伝統的な言語事項、文学に関する知識を、文学史の分野から整理して広く身につける。  【思考力、判断力、表現力等】 様々な形態の文学作品に対する分析方法を整理し、それを意識して作品を読むことを通して、自分自身を絶えず振り返り、可視化できない過去、現在、未来に思いを馳せて自身の行動を再考する思考力を養う。  【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く本文と向き合い、文学表現の意義を考えることによって、学習課題に沿って自身の考えを確立し表現しようと努める。	【教材】 ・梶井基次郎「檸檬」 ・横光利一「蠅」  【指導項目・内容】 ・小説というジャンルの特質を理解する。 ・本文で使われているレトリックを中心に、比喻表現、場面の設定やストーリー展開、技巧などに着目し、作品の特色を読み取る。 ・近代の日本社会における、「日本人」の「こころ」の有り様について社会的背景を踏まえて考察し、その上で登場人物の行動、言動、表現の意味を考える。 ・作品中のテンスを書簡体という文体と結び付けて読み、その設定の構成上の効果や読み手に与える読書行為の意味について自身の考えを持つ。			○ ○ ○		○ ○ ○	10	
	定期考査				○ ○		○ ○ ○	1

3 学 期	<p>G 言語、言葉によるものの見方・考え方のうち、文学に基づいたものの見方・考え方についての一視点を学習を振り返ることで確立し、生涯にわたって文学を愛好し広める力を養う。</p> <p>【知識及び技能】 我が国の伝統的な言語事項、文学に関する知識を、文学史の分野から整理して広く身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 様々な形態の文学作品に対する分析方法を整理し、それを意識して作品を読むことを通して、自分自身を絶えず振り返り、可視化できない過去、現在、未来に思いを馳せて自身の行動を再考する思考力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く本文と向き合い、文学表現の意義を考えることによって、学習課題に沿って自身の考えを確立し表現しようと努める。</p>	<p>【教材】 ・広淵升彦「安心について」</p> <p>【指導項目・内容】 ・文学の変遷を理解する。 ・一年間を通して養成してきた文学的なものの見方・考え方をはたらかせて、作品を一読し、その表現するところの主張やそこから派生して形成される人間が生きることに対する考えについて、対人意識を工夫して表現する。 ・文学のもつ価値や存在意義、自身への影響について、評論と作品の通読によって自身の考えを形成する。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 我が国の伝統的な言語事項、文学に関する知識を、文学史の分野から整理して広く身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 様々な形態の文学作品に対する分析方法を整理し、それを意識して作品を読むことを通して、自分自身を絶えず振り返り、可視化できない過去、現在、未来に思いを馳せて自身の行動を再考する思考力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く本文と向き合い、文学表現の意義を考えることによって、学習課題に沿って自身の考えを確立し表現しようと努める。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		○	○	○	1
合計										
105										